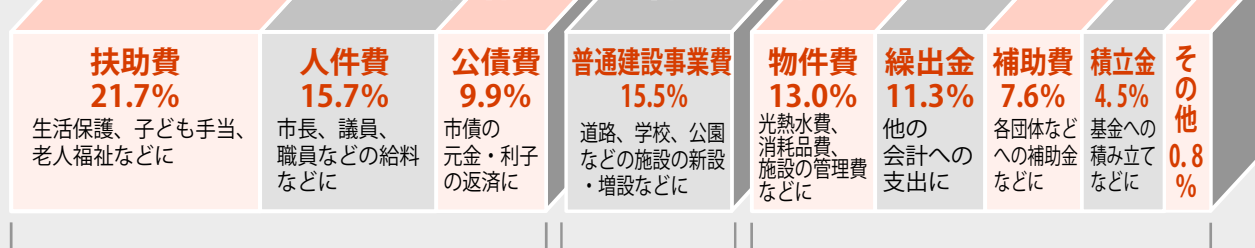


# くさつの家計簿

## 性質別に歳出を見てみると…

「民生費」や「教育費」などの「目的別」とはまた違った視点で、「性質別」に歳出を見てみましょう。

歳出総額 419億1,357万円



義務的経費 198億3,676万円(47.3%)

投資的経費 64億8,161万円(15.5%)

その他経費 155億9,520万円(37.2%)

扶助費は増加傾向にあり、10年前と比べて約2倍になっています。今後、これらの義務的経費は徐々に増える見通しです。



義務的経費とは、支出が義務付けられている経費のことだよ

## 特別会計

特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計です。

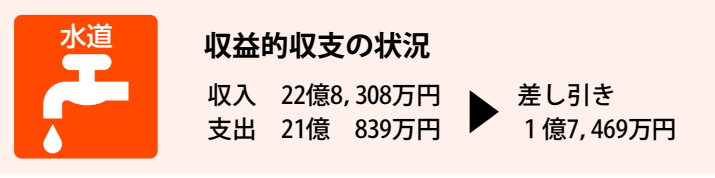


区分	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	114億9,005万円	111億4,322万円	3億4,683万円
財産区	1億9,693万円	1億9,693万円	0万円
学校給食センター	5億6,051万円	5億6,044万円	7万円
公共下水道*	43億3,706万円	42億8,423万円	5,283万円
駐車場	2億5,044万円	2億5,044万円	0万円
介護保険(保険)	62億3,862万円	60億7,652万円	1億6,210万円
介護保険(介護サービス)	3,707万円	3,510万円	197万円
後期高齢者医療	9億8,976万円	9億8,391万円	585万円

\*平成26年4月1日で公営企業会計に移行したため、3月31日に決算を行っています

## 公営企業会計

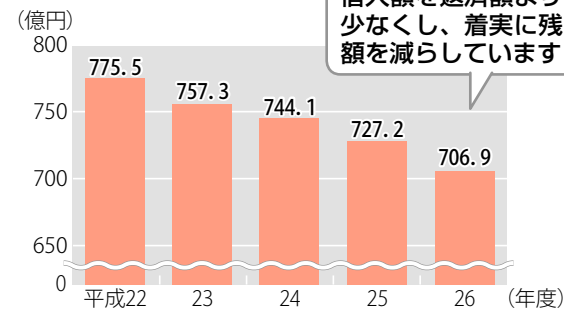
独立採算により、特定の事業を経理する会計です。市では、水道事業会計がこれに当たります。



## 市債(長期借入金)

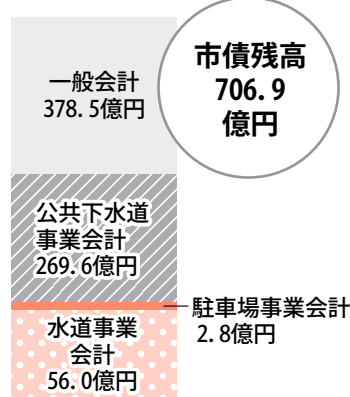
市の借金です。主に道路や学校、下水道など、長期間使用する施設を整備するときの財源の一部にします。

### 市債残高の推移



ここ数年は、新たな借入額を返済額より少なくし、着実に残高を減らしています

### 市債残高の内訳



## 基金など(貯蓄しているお金)

市の預金です。特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使います。

■現在高 194億4,276万円

財政調整基金 48億4,737万円、減債基金 31億1,200万円、水道利益剰余金17億8,992万円など11基金など

昨年度比 16.4億円増

## 財産

### ■公有財産

土地/162.3万㎡、建物/延べ床面積33.7万㎡、有価証券/2,831万円、出資金/3億4,214万円\*

\*特定の協会や公社などに出資したお金

市では年2回、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんの納めた税金などがどのように使われているかをお知らせしています。

今回は、平成25年度決算の概要や市の財政状況についてまとめました。

## 平成25年度 決算の状況

### 一般会計

一般会計は、行政の基本的な経費を、市税などを主な財源として経理する会計です。

歳入から歳出を引いた10億7,099万円のうち、26年度に繰り越した事業の財源を除いた3億8,805万円が黒字額で、46年連続の黒字となりました。

昨年度のお金の使われ方を見てみよう!

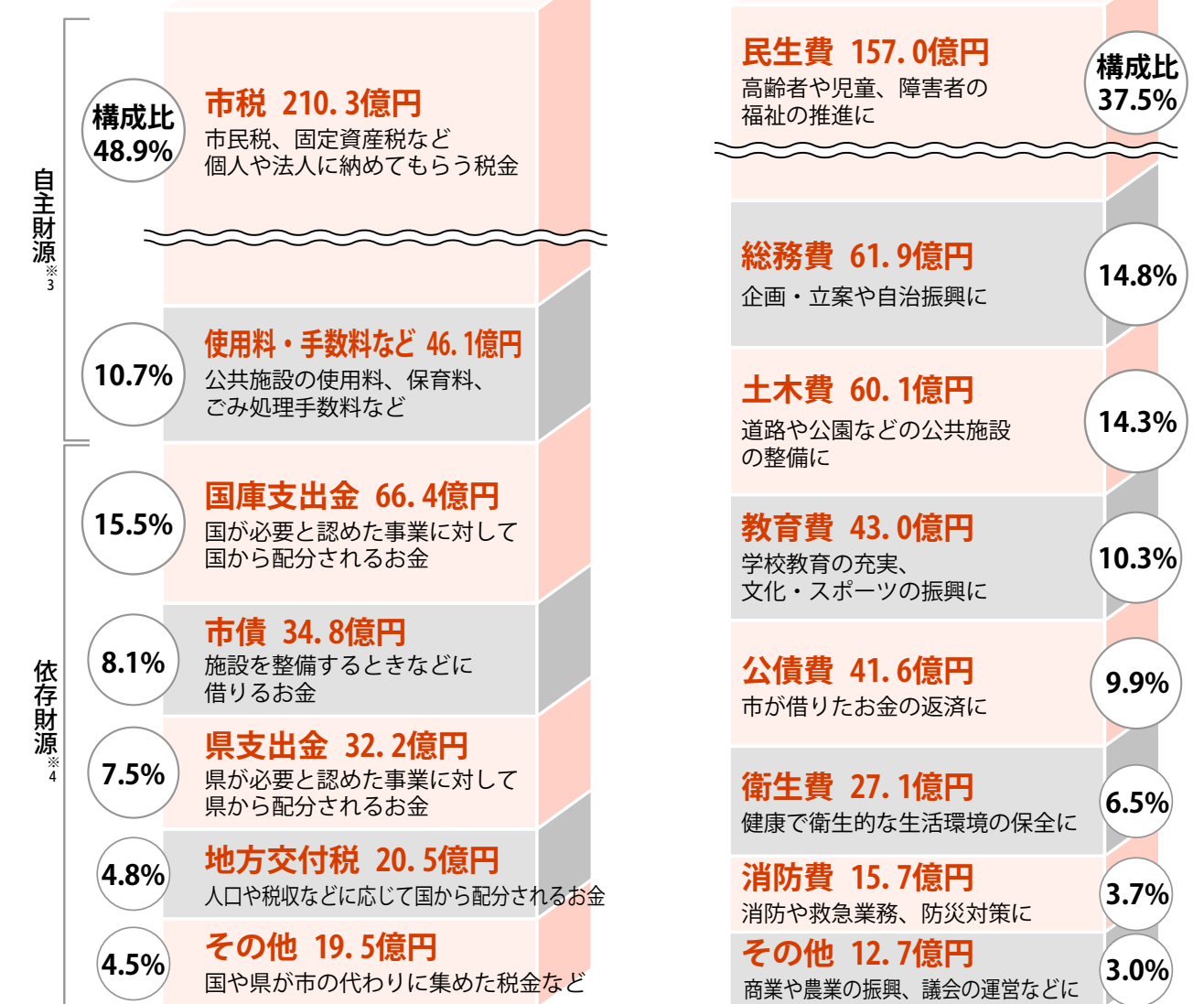


市民1人当たりの負担 13.8万円\*1

市民1人当たりにかかったサービスの額 32.8万円\*2

歳入総額 429億8,456万円  
前年度比 26億410万円増(6.4%増)

歳出総額 419億1,357万円  
前年度比 24億2,340万円増(6.1%増)



自主財源\*3

依存財源\*4

\*1 市税(法人市税などを除く)を26年3月31日現在の人口127,610人で除して算出  
\*2 歳出総額を26年3月31日現在の人口127,610人で除して算出  
\*3 市が自主的に収入できるお金  
\*4 国や県によって定められた額を交付されるお金

## 財政指標

昨年度に引き続き、県内で最も良好でした

財政指標とは、全国で統一されている指標で、自治体の財政の健康診断に用いられます。財政の健全性をあらわす4つの指標は、いずれも基準を超えておらず、県内他市町と比べて、市の財政指標は最も良好となっています。

〈健全化判断比率・資金不足比率〉 平成25年度決算

区分	内容	草津市		危険信号※1
		草津市	県内市平均(速報値)	
実質赤字比率	普通会計(一般会計と他1会計)の赤字額の標準財政規模※2に占める比率	赤字なし!	—	12.08%
連結実質赤字比率	全会計(財産区を除く)の赤字額の標準財政規模に占める比率	赤字なし!	—	17.08%
実質公債費比率	全会計(財産区を除く)での借入金の返済額のうち、主に市税によって返済した額の標準財政規模に占める割合	3.1%	9.5%	25.0%
将来負担比率	全会計(財産区を除く)や外郭団体などを含めて、主に市税によって今後負担すると見込まれる負債の標準財政規模に占める比率	—	23.6%	350.0%
資金不足比率	資金不足比率の対象となる会計は、下水道事業会計、水道事業会計の2会計	資金不足なし	—	20.0%*

※1 この基準を超えると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります

※2 標準財政規模とは、市税と交付税などを合計した額で、市の一般財源の標準的な大きさを示すものです。家計に置き換えると、家の基礎的な収入である「給料」に当たります



財政指標から見ると、草津市の財政状況は県内でも健全なんだ。それでも、さっきの家計簿では、生活するのに給料だけじゃ足りなくて、銀行から借金したり、仕送りしてもらったりしているけれど、大丈夫なの？

銀行からの借り入れには、応急的な財源を確保するほか、大きな費用をかけて施設などを整備する場合、費用を分割して返済することで、将来、施設を利用する市民の皆さんにも負担してもらうことになり、世代間の公平性を保つことができます。

また、国や県からの仕送りがあることで、すべての自治体が一定水準のサービスを提供できるようになります。

上記の指標は、あくまでもその時点での赤字や借金に着目した一面的な見方なので、これだけですぐに安心ということではありませんが、草津市は県内の自治体の中で最も健全な状態だといえます。

ただ、性質別に見た歳出のとおり、市には使い道の決まっている支出(義務的経費)が多く、自由に使えるお金は多くありません。また、今後少子高齢社会が進むにつれ、税収入の減少や、社会保障関係の費用増大などが予想されています。

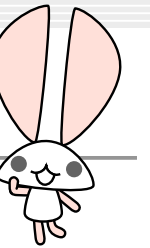
市では、引き続き健全な財政運営を維持していくため、昨年度に「財政規律ガイドライン」を定めました。これからも、市民ニーズの変化に合わせて事業の見直しを行うなど、適切な経営をしていくことが大切です。



市はこれからも、健全な財政運営のための努力を続けていくよ

## わが家の家計簿に例えてみると…

平成25年度一般会計決算の歳入総額429億8,456万円を、年収500万円の会計に例えてみます。



### 収入(歳入) 決算額 429億8,456万円

給料	292万円 (58.4%)
内訳	
基本給(市税)	245万円
諸手当(地方交付税など)※	47万円
パート収入(使用料・手数料など)	35万円 (7.0%)
貯蓄の取り崩し(繰入金)	8万円 (1.6%)
仕送り(国庫支出金など)	115万円 (23.0%)
借金(市債)	40万円 (8.0%)
その他	10万円 (2.0%)
合計	500万円

家族で働いて得たお金 327万円

### 支出(歳出) 決算額 419億1,357万円

食費(人件費) 職員の給料	77万円 (15.7%)	義務!
家族の医療費(扶助費) 生活困窮者、高齢者の支援と児童福祉のために	106万円 (21.7%)	義務!
光熱費などの雑費(物件費・補助費) 施設の管理や広域行政組合の運営費など	101万円 (20.6%)	
子どもたちへの仕送り(他会計への繰出金)	55万円 (11.3%)	UP↑
借金の返済(市債の償還)	48万円 (9.9%)	義務!
家の増改築・リフォーム費(普通建設事業) 道路や公共施設の建設など	75万円 (15.5%)	UP↑
貯金(積立金など)	22万円 (4.5%)	UP↑
その他(出資金や貸付金など)	4万円 (0.8%)	
合計	488万円	

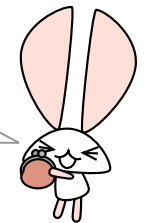
※地方交付税とは、税収の多い自治体と少ない自治体間の不均衡を調整するために、いったん国が税金を集めて各自治体に再配分しているお金です。ここでは、同様の仕組みで国や県がいったん集め、自治体に交付する地方譲与税や地方消費税交付金なども含めて、諸手当としました

借金残高 440万円  
貯金残高 182万円

義務! …法律などで支出が義務付けられ、削減が困難な経費

※四捨五入の関係で、執行率の値が合わない場合があります

支出の約7割を、給料(市税など)やパート収入(使用料・手数料)などで賄っているよ。それでもまだ不足する分は、仕送り(国庫支出金など)を受けたり、借金(市債)をしったりして、やりくりする必要があるんだよ。



## 平成26年度 予算の執行状況

4～9月の主なお金の動きをお知らせします。(平成26年9月末現在)

### ■一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
459億2,789万円	42.8%	35.4%

### ■公営企業会計

区分	収入予算額	予算執行率	支出予算額	支出執行率
水道	26億3,700万円	48.9%	21億9,054万円	41.0%
下水道	39億5,800万円	39.1%	38億400万円	42.2%

### ■特別会計

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	112億9,200万円	38.2%	43.0%
財産区	2億30万円	59.8%	57.6%
学校給食センター	5億8,140万円	22.8%	36.6%
駐車場	1億8,360万円	16.6%	45.9%
介護保険(保険)	65億2,540万円	38.3%	40.1%
介護保険(介護サービス)	3,560万円	31.7%	40.0%
後期高齢者医療	10億8,780万円	29.6%	33.1%